

事業所名

社会福祉法人リンク 児童発達支援
Withひろば早島

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

31日

法人（事業所）理念		利用者、家族、職員、地域の方などすべての人たちとのつながりを大事にし、障がいをお持ちの方が暮らしやすい街づくりに貢献します。						
支援方針		お子様が「わかる!」「できた!」と感じられる経験を大切に積めるようにしています。今必要な力だけではなく、これからの成長を見通して、今身につけていきたいことを保護者の方や園の先生方と一緒に考えていけるようにすることを大切にしています。そのために、一人ひとりの発達や特徴を評価し、NCプログラムやTEACCHの考え方等を参考にしながら支援方法を考えていきます。						
営業時間		①9時00分から	②13時15分から	12時15分まで	15時30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	日々の健康状態や生活リズムの把握をしつつ、基本的な生活スキルが獲得できるような支援を考えます。靴や衣類の着脱、トイレトレーニング、荷物や玩具・道具の片付け、身だしなみへの気付きなどを取り入れています。また、場所の構造化で「どこで何をすべきかを」分かりやすくしたり、スケジュールや手順書を使って見通しをもって活動に取り組みやすくしたりしています。						
	運動・感覚	身体の動きや手先の操作性の向上に楽しく取り組めるような支援を考えます。身体は身体を中心から末端(手先)に向けて発達します。散歩や運動遊びで体幹を鍛えたり、身体の使い方を体験できるようにしています。(活動例:平均台、ポックリ、ビリボ、トランポリン、フラフープ送り、手押し相撲、ボール遊び、輪投げ、ボーリング、縄跳びなど)また、つまむ、丸める、のぼす、道具を使うなどの様々な微細活動も取り入れています。(活動例:スプーン・ピンセット・トング・箸・はさみ・鉛筆等の操作、カップ積み、色ゴムで遊ぼう、色板構成など)感覚を刺激するような玩具等も準備し、感覚面の成長の促しや、緊張をほぐすなどの促しも行っています。						
	認知・行動	今理解できていることを評価して、一人ひとりの理解や特性に合わせた支援を考えます。名詞や動詞・色・数字・文字、物事のルールや原因等の理解を高めていく為に、ゲームなどを取り入れています。活動例:カルタ、箱の中は何が入っているかな?、色探しゲーム、動物に食べさせよう、ビンゴゲーム、身体パズル、旗上げゲーム、宝探し等)大人と1対1で取り組んだ後、他児との遊びの場面へと広げていけるようにしています。						
	言語コミュニケーション	お子様がコミュニケーションをとる楽しさや嬉しさを感じることができるよう支援をしていきます。必要なお子様には言葉のみではなく、ジェスチャーや要求カードを使いながら自分の思いを伝えられる環境を整えたり、場面に応じた他者への伝え方を一緒に考え、実践できる場面を作ったりしています。(活動例:3語文カルタ、伝言ゲーム、インタビューゲーム、借りてこようゲーム、不足物ふくわらいなど)						
	人間関係社会性	人との関わりの段階(接近・並行・共有・協力・ルール遊び)を評価して、社会性の段階に合わせた支援を考えます。(活動例:接近段階では、まずは近くに他者がいても安心して遊べた経験を積めるようにしています。並行段階では、同じものを2個用意して相手への気付きを促していきます。共有段階では、事前に約束事を知らせて玩具や道具を共有できるようにしています。協力段階では、目的に向かって協力して活動できるようにしています。ルール遊びでは、公式または自然にできたルールを意識して活動できるようにしています。)						
家族支援		○わくわく子育て勉強会(3回連続) ○かがやき手帳を書く会(年2回) ○第2土曜日親子参加型療育		移行支援		○引継ぎ書類の作成 ○担当者会議への参加		
地域支援・地域連携		○園への見学 ○地域の園の先生方の事業所見学受け入れ ○外部講師講演会実施		職員の質の向上		○外部の大学教授によるスーパーバイズ ○事業所内勉強会 ○社会福祉協議会等開催の研修会や講演会への参加		
主な行事等		○毎月:季節の制作 ○6月、11月:参観日週間 ○7~8月:水遊び週間 ○12月:クリスマスイベント週間 ○クッキング ○年度末:年長児対象に小学校授業スタイル						